

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	徳山大学
設置者名	学校法人徳山教育財団

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
経済学部	現代経済	夜・通信	42	80		122	13	
	ビジネス戦略	夜・通信				122	13	
福祉情報学部	人間コミュニケーション	夜・通信				42	13	
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

[https://www.tokuyama-u.ac.jp/about/jitsumu\\_prof\\_itiran\\_201994.pdf](https://www.tokuyama-u.ac.jp/about/jitsumu_prof_itiran_201994.pdf)

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名	なし
(困難である理由)	

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	徳山大学
設置者名	学校法人徳山教育財団

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.tokuyama-u.ac.jp/about/houjin/>  
上記HPの法人情報の「役員」の「大学設置者の役員名簿」を参照

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	サマンサジャパン（株） 代表取締役会長	2018.4.1 ~ 2022.3.31	経営強化担当
非常勤	（株）山口銀行 取締役専務執行役員 徳 山支店長	2018.4.1 ~ 2022.3.31	社会連携担当
（備考）学外者は、全員で7名である。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	徳山大学
設置者名	学校法人 徳山教育財団

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>経済学部、福祉情報学部それぞれの教務委員会・教授会で、次年度の開設科目と担当者を決定する(例年10月)</p> <p>各科目の担当者(オムニバス形式の場合は、筆頭担当者)がシラバス原案として、学習支援システム(Active Academy Advance、以下AAA)で、作成・修正を行う(例年12月末)</p> <p>シラバス原案を各学部の教務委員会委員でシラバスチェックを行う(例年1月)</p> <p>科目担当者宛てに教務委員長からシラバスチェックに基づいて修正指示を行う</p> <p>科目担当者は修正指示に従ってシラバス原案の修正を行い、シラバス最終稿をAAAに登録し、公表する(例年2月末)</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p><a href="http://www.tokuyama-u.ac.jp/about/official_announcement/">http://www.tokuyama-u.ac.jp/about/official_announcement/</a></p> <p>実務家教員のシラバスを検索する場合は、上記HPの「修学上の情報等」の5.の「実務家教員授業一覧表」に記載されている講義科目名または教員名を同HPの3.の「シラバス」の検索画面に入力し検索してください。</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>すべての授業科目でシラバスに評価項目および評価割合を明記している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学ではGPA制度を導入している。</p> <p>2018年度以降入学生については、秀4点、優3点、良2点、可1点、不可0点</p> <p>2017年度以前入学生については、優4点、良3点、可1点、不可0点を与え、この点数を単位数にかけて、その総和を履修登録単位数の合計で割ることによって求められる。(教職科目の「教職に関する科目」は対象外)</p> <p>学生には、前・後期の成績通知書の上部に記載することで周知され、自分の成績の状況が、学内システムでも公表されており確認することができる。またGPA制度を用いた客観的な成績評価について大学の下記HPにて公表を行っている。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>学生便覧 (学生便覧 2019 徳山大学、13 ページ)</p> <p>入手場所：毎年4月のオリエンテーションの教室。</p> <p>GPAの公表については、下記HPの「単位認定について」を参照。</p> <p>経済学部： <a href="http://www.tokuyama-u.ac.jp/students/extra_info/syllabus/qa_keizai.html#kamoku">http://www.tokuyama-u.ac.jp/students/extra_info/syllabus/qa_keizai.html#kamoku</a></p> <p>福祉情報学部： <a href="http://www.tokuyama-u.ac.jp/students/extra_info/syllabus/qa_fukushi.html#kamoku">http://www.tokuyama-u.ac.jp/students/extra_info/syllabus/qa_fukushi.html#kamoku</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>経済学部・福祉情報学部それぞれのディプロマ・ポリシーを学生便覧に掲載している</p> <p>学生便覧およびホームページに卒業単位（124単位）を明示している</p> <p>3月及び9月のそれぞれの学部の教務委員会で、卒業要件を満たしているかどうかの検討を行い、卒業生原案を作成し教授会に提出する</p> <p>それぞれの学部の教授会で、卒業生原案にもとづいて卒業判定を行う。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ディプロマポリシー：<a href="http://www.tokuyama-u.ac.jp/about/about/gaiyou/diploma_curriculum_policy/">http://www.tokuyama-u.ac.jp/about/about/gaiyou/diploma_curriculum_policy/</a></p> <p>補足資料：履修サポート Q&amp;A：<a href="http://www.tokuyama-u.ac.jp/students/extra_info/syllabus/qa.html">http://www.tokuyama-u.ac.jp/students/extra_info/syllabus/qa.html</a></p>

## 様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	徳山大学
設置者名	学校法人徳山教育財団

### 1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://www.tokuyama-u.ac.jp/about/houjin/">www.tokuyama-u.ac.jp/about/houjin/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="http://www.tokuyama-u.ac.jp/about/houjin/">www.tokuyama-u.ac.jp/about/houjin/</a>
財産目録	<a href="http://www.tokuyama-u.ac.jp/about/houjin/">www.tokuyama-u.ac.jp/about/houjin/</a>
事業報告書	<a href="http://www.tokuyama-u.ac.jp/about/houjin/">www.tokuyama-u.ac.jp/about/houjin/</a>
監事による監査報告(書)	<a href="http://www.tokuyama-u.ac.jp/about/houjin/">www.tokuyama-u.ac.jp/about/houjin/</a>

### 2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:平成31年度事業計画書 対象年度:2019年度)
公表方法: <a href="http://www.tokuyama-u.ac.jp/about/official_announcement/">www.tokuyama-u.ac.jp/about/official_announcement/</a>
中長期計画(名称:中期計画2020 対象年度:2016~2020年度)
公表方法: <a href="http://www.tokuyama-u.ac.jp/about/official_announcement/">www.tokuyama-u.ac.jp/about/official_announcement/</a>

### 3. 教育活動に係る情報

#### (1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <a href="http://www.tokuyama-u.ac.jp/about/about/hyouka/">http://www.tokuyama-u.ac.jp/about/about/hyouka/</a>
---

#### (2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: <a href="http://www.tokuyama-u.ac.jp/about/about/hyouka/">http://www.tokuyama-u.ac.jp/about/about/hyouka/</a>
---

### (3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

#### ①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 経済学部、福祉情報学部
教育研究上の目的 (公表方法： <a href="http://www.tokuyama-u.ac.jp/about/official_announcement/">www.tokuyama-u.ac.jp/about/official_announcement/</a> ) (概要) 経済学部は、多様化しつつある経済社会を理論と実際の両側面から深く教育研究するとともに、変化する経済社会に柔軟に対応できる実践力と次世代を指導し得る能力を育成することを目的とする。 福祉情報学部は高まりつつある福祉への需要と、伸展しつつある情報化の交点に位置する福祉情報を教育研究すること、ならびに次世代を指導し得る能力を育成することを目的とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： <a href="http://www.tokuyama-u.ac.jp/about/official_announcement/">http://www.tokuyama-u.ac.jp/about/official_announcement/</a> ) (概要) 卒業の認定については、4 年以上 8 年以内在学し、所定の単位を修得することが卒業要件となっている。 総合科目、専門科目、自由選択科目の所定の単位を修得し、合計 124 単位以上を修得した者は課程を修了したことになる。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： <a href="http://www.tokuyama-u.ac.jp/about/about/gaiyou/diploma_curriculum_policy/">http://www.tokuyama-u.ac.jp/about/about/gaiyou/diploma_curriculum_policy/</a> ) (概要) 「教育目的」から導かれる具体的に養成すべき人物像を達成するためのカリキュラム編成上の指針がカリキュラムポリシーである。カリキュラムポリシーは「総合教育」と各学科の「専門教育」のそれぞれについて、教育課程の編成方針を端的にまとめた形に整理されホームページや学生便覧に明示されている。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： <a href="http://www.tokuyama-u.ac.jp/applicants/exam_info/admission_policy/">www.tokuyama-u.ac.jp/applicants/exam_info/admission_policy/</a> ) (概要) 本学の教育理念「個性の伸長を本旨とする『知・徳・体』一体の教育を行う。」に基づき「教育の目標」を定めている。 この教育の目標を実現するため、平成 21 年度、本学が求める人材像を記した大学及び学部の「アドミッションポリシー」を公開した。また、受け入れ方針をより明確にするため、これに加え学科の「アドミッションポリシーと募集単位ごとの「アドミッションポリシー」を策定し、平成 23 年度以降、募集要項やホームページに明示し、学生募集に反映している。

#### ②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：[www.tokuyama-u.ac.jp/about/about/gaiyou/soshiki/](http://www.tokuyama-u.ac.jp/about/about/gaiyou/soshiki/)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）								
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計	
—	1人	—					1人	
経 済	—	11人	11人	8人	0人	0人	30人	
福祉情報	—	7人	4人	4人	0人	0人	15人	
b. 教員数（兼務者）								
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計	
0人			50人				50人	
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)			公表方法： <a href="http://www.tokuyama-u.ac.jp/about/teacher_info/">www.tokuyama-u.ac.jp/about/teacher_info/</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）								

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
経 済	230人	254人	110%	920人	988人	107%	人	2人
福祉情報	50人	33人	66%	200人	127人	64%	人	0人
合計	280人	287人	103%	1120人	1115人	99%	人	2人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
経 済	181人 (100%)	1人 (0.6%)	150人 (82.9%)	30人 (16.6%)
福祉情報	28人 (100%)	0人 (0%)	27人 (96.4%)	1人 (3.6%)
合計	209人 (100%)	1人 (0.5%)	177人 (84.7%)	31人 (14.8%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
大阪市立大学、(株)愛媛銀行、総合警備保障(株)、第一生命保険(株)、(株)日立製作所				
(備考)				



c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
合計	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）授業科目、授業内容並びに授業方法に関しては、それぞれシラバスに明記している。単位制度の趣旨を保つための工夫として半期あたり 15 回の授業を確保すること、科目ごとの「標準的な達成レベルの目安」とその成績評価基準及び授業外学習時間の目安のシラバスへの掲載をしている。また年間履修単位数の上限を設置する（CAP 制）を実施している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）100 点満点の評点で 60 点以上を合格として単位を認定している。科目ごとの成績評価は、定期試験、レポート、授業中の課題、小テストなどをもとに担当教員が総合的に行っている。それぞれの授業科目に「標準的な達成レベルの目安」とその達成レベルの評価方法と評価の割合を記載し、さらに授業外での学習時間の目安を記載して学習時間の確保を促すようにし、学生に評価方法を明らかにしている。

卒業の認定については、4 年以上在学し、所定の単位を修得することが卒業要件となっている。

学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)	
経 済	現代経済	1 2 4 単位	有 無	1 年生 42 単位、2~4 年 48 単位	
	ビジネス戦略	1 2 4 単位	有 無	1 年生 42 単位、2~4 年 48 単位	
福祉情報	人間コミュニケーション	1 2 4 単位	有 無	48 単位	
		単位	有・無	単位	
GPA の活用状況（任意記載事項）		公表方法：			
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：			

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：[http://www.tokuyama-u.ac.jp/about/official\\_announcement/](http://www.tokuyama-u.ac.jp/about/official_announcement/)

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
経済	現代経済	625,000円	250,000円	293,160円	その他内訳：施設設備整備費 255,000円、諸納付金38,160円
	ビジネス 戦略	625,000円	250,000円	293,160円	その他内訳：施設設備整備費 255,000円、諸納付金38,160円
福祉情報	人間コ ミュケー ション	625,000円	250,000円	293,160円	その他内訳：施設設備整備費 255,000円、諸納付金38,160円
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 2000年度から1年生を担当するアドバイザー(学習指導教員)制度及び全教員によるオフィスアワー制度(決められた時間に教員が研究室において相談に応じる)を設けて学生の相談について直接対応してきた。また、2002年度から教職員(2人1組)で4年間学生に対しケア出来るようにWアドバイザー制度が新たに設けられた。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 教員の対応する以外に、本学では学生の進路選択に相談・指導を行う部署として進路支援室があります。個別に就職、進学や手続き、試験対策、面接指導他対応をしている。また、求人案内や会社説明会など学生の就職活動に寄与している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 肉体的・精神的な不安、人間関係の問題などでどう対処すればよいか悩んでいる時学生支援室または保健室にて相談ができる。職員のほか専門スタッフも非常勤にて対応している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： <a href="http://www.tokuyama-u.ac.jp/about/official_announcement/">http://www.tokuyama-u.ac.jp/about/official_announcement/</a>
---